第1. 事業の状況

1. 平成28年度事業総括表

社会福祉法人　札幌慈啓会

事業区分	拠点区分	サービス区分・主な事業	主な収入	事業目的・事業内容
社会福祉	法人本部	法人本部	寄附金・繰入金	定款・規程類の整備、給与・人事管理の総括、予算決算及び資金管理・経営の総括、中・長期計画の策定。
		総合相談室		相談窓口・施設連携・地域活動・相談員支援を主な事業とし、近隣地域の福祉向上に寄与する。
		研究研修センター		研究・研修助成事業及び法人職員研修を実施する。
	慈啓会養護老人ホーム	慈啓会養護老人ホーム	措置費	原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		慈啓会養護特定施設入居者介護事業	介護保険収入 利用者負担金収入	
	慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム	ふれあいの郷養護老人ホーム	措置費	原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
		ふれあいの郷養護特定施設入居者介護事業	介護保険収入 利用者負担金収入	
		ふれあいの郷高齢者生活福祉センター	委託料	原則として60歳以上の札幌市民で、高齢等のため居宅において生活することに不安のある方が入居する。 居室：個室（個室、洗面所、便所、収納スペース、調理設備等）、原則自炊
	慈啓会特別養護老人ホーム	慈啓会特別養護老人ホーム（従来型）	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する（日常生活の世話を重視した生活施設）。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
		慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型）		
		慈啓会短期入所施設（ユニット型）		特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。
		慈啓会デイサービスセンター（一般型）		特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。
		慈啓会デイサービスセンター（認知症対応型）		
		慈啓会訪問介護		ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。
		慈啓会介護総合相談センター		在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
		中央区介護予防センター旭ヶ丘	委託料	地域包括支援センターの機能を補完する協力機関として、より身近な地域の相談窓口となり、連携協議して介護予防サービスを行う。
	札幌市稲寿園	稲寿園特別養護老人ホーム	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する（日常生活の世話を重視した生活施設）。又、入居者一人一人意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
		稲寿園短期入所施設		特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。
		稲寿園デイサービスセンター		特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。
		稲寿園訪問介護		ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。
		稲寿園介護総合相談センター		在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
	札幌市菊寿園	札幌市菊寿園（軽費老人ホームA型）	委託料	60歳以上の札幌市民で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入居する。（所得制限あり）　A型：食事付　B型：自炊
	札幌市拓寿園	札幌市拓寿園（軽費老人ホームB型）		
	慈啓会老人保健施設	入所療養介護	介護保険収入 利用者負担金収入	病状が安定し、看護・医学的管理の下で介護及びリハビリテーション等を提供し、家庭復帰ができるように支援する療養施設。
		短期入所療養介護		老人保健施設にて、短期間入所しながら、看護・医学的管理の下で介護や機能訓練を行う。
		通所リハビリテーション		老人保健施設にて、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーションを中心とした日帰りサービスを行う。
	慈啓会病院	慈啓会病院	診療報酬 利用者負担金収入	傷病者のための科学的でかつ適正な医療を行う。診療科目：内科、老年内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、精神科、リハビリテーション科、放射線診断科
	啓明ともいき保育園	啓明ともいき保育園	保育所運営費収入 利用料収入	就労等の理由により保育に欠ける生後5ヶ月から小学校入学前の乳幼児の一人ひとりが、心身ともに健康で、たくましく、思いやりのある子どもに育つ保育と保護者や地域との連携を深めて子育ての楽しさを伝える。特別保育事業として、延長保育事業と一時保育事業を行う。
公益	第2地域包括	中央区第2地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
		中央区第2介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。
	第3地域包括	中央区第3地域包括支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
		中央区第3介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連絡調整等を行う介護予防ケアマネジメント事業。

2. 法人本部

基本方針	1. 総務部・事業部・福祉部3部体制の定着を図るとともに、各施設・事業をバックアップを行った。 2. 法人職員の意識・資質向上に資する諸施策の実施を行った。 3. 法人経営資源を有効活用するとともに経営基盤の強化を図った。
重点項目	＜経営全般＞ 1. 理事会・評議員会の開催～理事会5回、評議員会5回開催した。 2. 経営理念・基本方針の職員及びご利用者様への周知徹底を行った。 3. 法人の経営改善に向けた事務・事業見直し及び推進として～拠点区分ごとの経営分析から経費削減、収入強化策、広報活動の強化を実施した。 4. 法人内各施設の相互調整及び関係団体等との連絡調整を行った。 5. 社会福祉法人改革に向けての対応として～定款変更、役員改選等を行った。 6. 地域貢献・生活困窮者支援等公益的な取り組みの強化～29年度も継続して取り組み強化を検討 7. 平成30年度介護報酬・診療報酬同時改正に向けての対応策の検討プロジェクトを立ち上げ対応策の検討を行った。併せて三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱とコンサルティング契約を締結し、札幌慈啓会の中期経営計画を策定した。 ＜経理・財務＞ 1. 予算・決算及び決算見込に係る調整～月次予算管理の徹底と経営会議での検討を実施した。 2. 助成金・借入金等の確保及び借入金の返済・償還に係る調整を行った。 3. 幹部職員の財務・経営分析セミナー実施～平成29年2月17日開催した。 4. 経理・会計事務の質向上と効率アップを図った。 ＜職員処遇＞ 1. 法人職員の任用、処遇に係る調整を行った。 2. 職員の福利厚生 (1)職員健康診断の実施 一般健診、特殊健診、腰痛健診を実施した。 (2)ストレスチェックの実施 平成28年11月実施(対象者563名、回答者497名　回答率88.27%) (3)永年勤続職員の表彰 40年1名、30年1名、20年2名、10年15名　計19名表彰を行った。 (4)福利厚生事業への助成～職員親厚会への助成他を実施した。 3. メンタルヘルス体制の整備～法人の横断的組織として統括衛生委員会を立ち上げ月1回定期的に開催しストレスチェック制度実施要綱を策定を行った。 4. 人事考課制度の見直し～考課者、被考課者の見直しを行った。 ＜第三者評価＞ 1. 法人における第三者評価制度への取組を継続して行った。 ＜コンプライアンス＞ 1. 倫理綱領、法令順守要領の徹底～倫理綱領の周知と新人への教育を実施した。 2. 職員による相互内部監査の拡充～定期内部監査の実施と、監査スキル向上に努めた ＜広報・情報開示＞ 1. 広報・PR活動の強化による法人イメージの向上～法人広報誌の発行を行った。 2. ホームページの更新と運用・活用の強化を行った。 3. 情報開示の推進～法人のホームページを活用しての情報開示及び全国社会福祉法人経営者協議会のホームページからの情報開示を実施した。 ＜総合相談室・研究研修センター＞ 1. 総合相談業務の体制強化を行った。 2. 研究研修センター機能・ともいき助成事業の充実を行った。

3. 総合相談室

1) 相談受付

①総合相談件数

方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話(直通)	10 (7)	4 (4)	7 (7)	5 (5)	8 (6)	11 (10)	11 (6)	26 (25)	26 (23)	20 (19)	51 (51)	69 (63)	248
来訪			1			3	1	2	1	2		1	11
その他	1	2	2	2	2	1	2		1		1	4	18
総数	11	6	10	7	10	15	14	28	28	22	52	74	277

＊その他は郵便、メール、留守電等

②相談内容(複数入力可)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養		2	4	8	5	6	7	5	4	4	2	4	51
慈啓会病院			1	1		1	4	3	2	3	4	5	24
老健	2	2	1			2		4	3	2		2	18
養護	1		1		3	1	2					6	14
軽費	1				4		2	1				1	9
予防センター													0
居宅		1											1
包括													0
ショート	3						1						4
通所サービス	2		1				2		1			1	7
ヘルパー			1										1
訪問看護													0
訪問リハビリ													0
生活支援ハウス							1						1
法人外施設紹介	1								1			3	5
その他	1	1	2			5	1	19	17	15	49	57	167

2) 見学案内

実施件数: 9件　　見学者総数: 77名

法人新採用者、研修講師、稲寿園実習生、伏見地区町内会(法人主催見学会)
韓国市議会議員、韓国ピョンテク市福祉財団、予備調査に伴う会計監査人
市民の見学希望者、特養入所希望者

3) 会議参加

	会議名	出席回数		会議名	出席回数
本部	役員会	4	病院	MURC関連会議	14
	月例会	10		地域連携室会議	97
	経営会議	12		ベッドコントロール会議	21
	人事考課委員会	2	老健	入所判定会議	21
	拡大三役会議	2			
特養	入所判定会議	8	稲寿園	入所判定会議	10
	居宅情報伝達会議	34			
	職種会議	10			

4) 会議開催

苦情解決第三者委員会	2
理事長スポーツ大会会議	2
相談員連携会議	7
旭ヶ丘ミーティング	1

5) 連携・調整

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
慈啓会特養	1		3	20	17	24	18	24	23	27	28	35	220
慈啓会病院	3		6	12	19	19	22	24	19	25	27	53	229
慈啓会老健	1		4	1	1	2	1	12	1	7	5	11	46
稲寿園							1	2	2	3	3	2	13
慈啓会養護	1		2	1	1	1			1	2	2	3	14
ふれあいの郷								1	1	6	5		13
軽費(菊寿園)				11	4			1	1	4	1		22
軽費(拓寿園)									1	2	1		4
慈啓会居宅		1	4			1	1	5	1	7	3		23
包括支援センター	1		2	1	1	3	2	1	1	9	2		23
予防センター				1		1	3		1	1	5	11	23
慈啓会在宅サービス	2			1			2	7	17	18	20	21	88
法人外施設	1												1

6) その他

・理事長杯争奪スポーツ大会開催(6月5日) ・認知症カフェ開催(2回) ・菊寿園広報活動
・苦情解決第三者委員会開催(2回 6月15日 12月9日) ・伏見町内会との意見交換会参加

4. 研究・研修センター

1） 助成事業「さっぽろ慈啓会共生（ともいき）助成事業」
会議　運営委員会　２回（５月２７日、１月２６日）・書面決裁１回（１０月１４日起案）
審査委員会　２回（６月１６日、２月１６日）
①平成２８年度助成事業
助成事業公募方法　法人内施設案内、札幌医大、北海道医療新聞、介護新聞、道社協等で告知
募集応募　９件
助成決定　６件　申請総額　２，３７６，３００円
実績報告　６件　助成総額　１，９６７，５１７円
②平成２９年度助成事業
助成事業公募方法　法人内施設案内、法人ホームページ・北海道社会福祉協議会ホームページ掲載
医療新聞・福祉新聞・北海道社会福祉士会・北海道介護福祉士会・札幌医大研究室に案内
課題募集期間　平成２９年３月１日～４月３０日

2） 研修企画
１．法人研修(全体)　４回　６会場
①「医療と介護をとりまく現状と今後の方向性について」
講師　（株）三菱UFJリサーチ&コンサルティング　シニアコンサルタント　吉竹　一将　氏
開催日・参加者：平成２８年７月１２日（旭ヶ丘）　８９名
②「メンタルヘルスとストレス対処の実践」
講師　Liezoカウンセリング&コンサルティング　代表　内山　貴美子　氏
開催日・参加者：平成２８年９月２０日（手稲）　４２名
講師　日本産業カウンセラー協会北海道支部　志賀　千栄子　氏
開催日・参加者：平成２８年１１月２４日(旭ヶ丘)　４９名
③「感染症について」
講師　（株）花王プロフェッショナル・サービス北日本支社　水上　秋悦　氏
開催日・参加者：平成２８年１０月２７日(旭ヶ丘)　６１名　１１月１日(手稲)　３７名
④「財務三表の見方と関係性について・社会福祉充実計画の考え方について」
講師　樋爪昌之公認会計士事務所　公認会計士　樋爪　昌之　氏
開催日・参加者：平成２９年２月１７日(旭ヶ丘)　３９名
２．基礎研修　２回　２会場
①「三大認知症における診断、治療、ケアの違いについて」
講師　特定医療法人さっぽろ悠心の郷　ときわ病院院長　宮澤　仁朗　氏
開催日・参加者：平成２８年６月８日（旭ヶ丘）　６５名
②「虐待防止と権利擁護」
講師　IGM法律事務所　弁護士　水沼　功　氏
開催日・参加者：平成２８年７月６日（旭ヶ丘）　５９名
３．役職者研修　２回２会場
①「職員管理について」（課長以上対象）
②「部下・上司とのコミュニケーションについて」(課長補佐以下対象)
講師　社会福祉法人　札幌慈啓会　専務理事・総合施設長　加藤　敏彦　氏
開催日・参加者：①平成２８年８月２９日（旭ヶ丘）　３３名
②平成２９年１月１８日(旭ヶ丘)　４１名
４．種別研修　２回　２会場
①「介護に必要な医学知識」
講師　慈啓会病院　４階東看護室　看護副部長　奥村　美貴子　氏
開催日・参加者：平成２８年１１月１０日（旭ヶ丘）　３８名
②「認知症ケアについて」
講師　特別養護老人ホーム札幌市稲寿園　施設福祉課長　谷口　俊弘　氏
開催日：参加者：平成２９年２月２３日（旭ヶ丘）　３９名
５．平成２８年度新採用者等オリエンテーション（４月１日・４日）　参加者　３８名

3） 海外研修　応募なし(未派遣)

4） 国内派遣研修　①１組２名派遣（慈啓会特養・札幌市稲寿園　各１名）
経営協研修「地域における公益的な取組の実践発表会」へ参加
施設見学：社会福祉法人　福栄会（東京都品川区東品川３丁目１－８）

5） その他　①国内派遣研修報告会　３回３会場　参加者数　６２名
旭ヶ丘：平成２８年１２月２１日（２１名）
手稲：平成２９年１月１３日（２８名）・１月１８日（１３名）
②介護支援専門員受験対策講座　希望者なしのため未開催
③第２３回福祉病院学会事務局会議開催（１回）

5. 慈啓会養護老人ホーム（定員80名）

（1）利用状況等

	在籍者数（年度末現在）	年齢（年度末現在）						年度内入退所		年度内入院者	
								入所	退所	慈啓会	その他
男	8	最低	73	最高	86	平均	78.5	1	3	2	1
女	72	最低	70	最高	101	平均	88.3	9	7	16	5
計	80					平均	87.3	10	10	18	6

・在籍率　99．90%（毎月1日現在在籍数）　99．43%（1年間の平均）

（2）防災訓練実施状況

1．7月15日(夜間想定)　2．9月21日　3．11月30日　4．1月25日
5．3月29日

（3）行事・クラブ実施状況

定例

ストレッチ体操、歌クラブ、すこやか体操、誕生会、大相撲星取大会、園内喫茶、家族交流会、防災訓練、手芸クラブ、折り紙教室、麻雀クラブ、を実施した。

季節行事

買物バスツアー、ビデオ鑑賞会、養護夏祭り、合同夏祭り、盆踊り大会、敬老の日式典、理事長杯スポーツ大会、クリスマス会、年越し会、新年会、獅子舞、書初め、宝引き大会、豆まき、養護コンサート、きらく会ゲーム大会等を実施した。

（4）給食実施状況

給食時間　朝7：40～　昼12：00～　夜17：30～

・栄養管理、衛生管理を徹底し、安心・安全な食事作りに努めた。
・楽しみのある食事として旬のイベント食を組み入れた。(養護夏祭り、寿司バイキング、おでん屋台等)
・経年劣化により故障及び破損した備品の入れ替えをした。(トレーの入れ替え)

（5）保健衛生実施状況

定期的な内科医と精神科医の診察。外部からいとう整形外科、平川歯科の往診を依頼し、慢性疾患治療と重度化予防に努めた。
年に2回の健康診断に長谷川式簡易知能評価スケールを加え、より心身の状況把握に努めた。
インフルエンザの予防、肺炎球菌ワクチンの接種を行い感染予防に努めた。

（6）職員研修実施状況

平成28年度札幌市ケアマネジメント能力向上研修会、平成28年度特定給食施設等研修会、平成28年度社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会、平成28年度北海道老人福祉施設協議会養護老人ホーム勉強会、平成28年度札幌市予防給付ケアマネジメント研修　(外14件)

（7）固定資産取得状況等

該当なし

（8）主要委員会

事故防止委員会(12回)、身体拘束廃止対策委員会(2回)、感染等対策委員会(12回)、行事委員会(12回)、編集委員会(2回)

（9）事故発生状況

転倒65件(骨折3件・裂傷3件他59件)、変色3件、ずり落ち7件、誤薬1件、誤薬未遂1件、無断外出1件、自殺未遂による骨折1件　(総合計79件)

（10）苦情の状況等

0件

（11）その他

ボランティア(ストレッチ体操・折り紙教室)、訪問(旭ヶ丘高校、白石幼稚園、歯科学院)

6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム（定員100名）

（1）利用状況等

	在籍者数（年度末現在）	年齢（年度末現在）						年度内入退所		年度内入院者	
								入所	退所	慈啓会	その他
男	12	最低	69	最高	90	平均	81	5	3	2	5
女	88	最低	71	最高	101	平均	86	6	8	7	44
計	100					平均	85	11	11	9	49

・平均稼働率 100%（毎月1日現在在籍数） 96.69%（1年間の現在数（入院者を除く）÷（定員×365日））

（2）防災訓練実施　1. 7月5日　2. 10月 24日　3. 12月8日（検証訓練）

（3）行事・クラブの実施状況

・行　事：園内喫茶（6回）、夏祭り、お施餓鬼法要、敬老会、忘年会、新年会、節分、誕生会（毎月）
理事長杯スポーツ大会、きらく会スポーツ親睦大会、アニマルセラピー（奇数月）、特養定期演奏会
すきやきの日

・クラブ（毎週）：ゲートボール（火曜）、書道（水曜）、カラオケ（第1.3金曜）、転倒予防体操（第2.4火曜）

（4）給食の実施状況（給食時間　朝　7:30～　昼12:00～　夜17:30～　）

・食の安全性は第一に考え地場産の安価な旬の食品の使用に努めた。
・給食の残菜率の削減に努めた。

（5）保健衛生

・入居者向けに外部講師による手洗いの講習会を開催し、入居者ほぼ全員が参加した。
正しい手洗い方法を周知するため、全手洗いスペースにポスターを掲示した。
・感染予防対策を実施した結果、ノロウィルスの発生はなく、インフルエンザ発症者2名（入居者0名、職員2名）が発症するも、単独で施設内感染はなし。

（6）職員研修実施状況

・法人研修（7回）　・職場内研修（11回）　・外部研修（32回 40名）

（7）固定資産取得状況等（大規模修繕含む）

・今年度はありません

（8）主要委員会

・防災　3回　・給食　12回　・事故防止対策　12回　・研修　1回
・行事　6回　・苦情　0回　・感染症対策　4回　・広報　1回
・動物介在、環境整備　2回

（9）事故発生状況

・転倒　8件（内　骨折6件）　・誤薬　1件　・窒息　1件

（10）苦情の状況等

・0件

（11）その他

①接遇改善状況

・北海道ボランティアドッグの会によるアニマルセラピーを実施。
・慈啓会特養デイサービスで開催している定期演奏会への参加。

②地域との交流状況

・町内会との植栽活動　・地域行事への協賛　・地域交流センター利用の積極的受入れ
・近隣幼稚園との交流
・近隣中学校、高校からの職場体験の受け入れ

③ボランティア活動　（計58件　延人数：93名）
（行事手伝い等作業奉仕：27名、傾聴：17名、クラブ活動等指導奉仕：30名、音楽演奏等訪問：19名）

④数値目標に対しての結果について

・施設設備等積立金を350万円を目標としていたが、500万円を積み立てる事ができた。
・退所から入所までの平均空室期間目標を、10日未満としたが8.1日となり達成した。
・特定サービス収入を年間平均額288万円以上としていたが、324万円となり達成した。
・残菜率を1食あたり9%未満にする目標は20回　9%以上となり達成できなかったが、月平均7%未満にする目標は、6.2%となり達成できた。

⑤その他

・入居者、職員で地域のゴミ拾い活動を月2回行い、地域貢献や入居者の活性化に繋がった。

7. 慈啓会ふれあいの郷 生活支援ハウス(定員20名)

(1) 利用状況等

	在籍者数	年齢						年度内入退所		年度内入院者	
	(年度末現在)	(年度末現在)						入所	退所	慈啓会	その他
男	1	最低	81	最高	81	平均	81	0	0	0	0
女	19	最低	64	最高	95	平均	78.47	2	2	1	6
計	20					平均	78.6	2	2	1	6

・平均稼働率 99,58%(毎月1日現在在園数) 99.60%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×366日)×100

(2) 防災訓練3回実施(養護と合同)

第1回. 7月5日 第2回. 10月24日 第3回. 12月8日(夜間想定検証訓練)

(3) 行事・クラブの実施状況

定例 ・懇談会・理事長杯スポーツ大会・開園記念昼食会・コンサート
・食糧品等買い物日(毎月3～4回)・カラオケ・ゲートボール・書道

季節行事 ・端午の節句・夏祭り・敬老の日式典及び昼食会・忘年会
・新年昼食会・節分(豆まき)・ひな祭り昼食会

(4) 給食の実施状況

入居者 1名(体調不良にて自炊不可の為 29年1月30日から2月1日まで利用。)

(5) 保健衛生

年2回健康診断を実施し、病気の早期発見、早期治療を心がけ健康維持に努めた。
季節型インフルエンザ予防接種を行うほか、冬期間の風邪対策を行なった。
感染症予防のため消毒液の見直しや職員の対応について再検討をし懇談会にて
手指消毒・うがい・マスクの着用等の励行をお話しし感染予防対策を行う。

(6) 職員研修実施状況

法人職員研修 (2回) 内部研修 (10回) 外部研修 (0回)

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

なし

(8) 苦情の状況

懇談会や日常のコミュニケーション等で意見・要望を把握し対応しており、意見箱や
苦情委員会に寄せられる苦情等は0件です。

(9) その他

①園芸活動・動物介在活動・地域交流ゲートボール大会・地域交流植栽
②数値目標にしていた年平均待機者数10名以上に対しては毎月1日現在で7. 8名と目標は
達成できませんでしたが、3月末では10名待機となっております。

8. 慈啓会特別養護老人ホーム（従来型:定員70名）

（1）利用状況

	在籍者数（年度末現在）	年齢（年度末現在）						年度内入退所		年度内入院者	
								入所	退所	慈啓会	その他
男	16	最低	67	最高	99	平均	81.5	9	10	21	4
女	57	最低	69	最高	100	平均	87.1	10	8	24	6
計	73					平均	85.9	19	18	45	10

介護度（年度末現在）	
男	3.69
女	3.93
平均	3.88

・年間平均稼働率 98.3%（1年間の現在数（入院者・外泊者を除く）÷定員×365日）

（2）防災訓練実施状況（夜間想定） ①9月27日（4施設合同・防火） ②11月30日（4施設合同・防災） ③3月22日（防火）

（3）行事・クラブの実施状況

①定例行事 定期演奏会(札響)12回、紙芝居20回、いきいきクラブ11回、
イトーヨーカドーふれあいショッピング3回、誕生会

②季節行事 御施餓鬼法要（春・秋）、クリスマス会、忘年会、新年会等を実施

③地域交流・家族交流会等行事
夏祭り、盆踊り、敬老の日式典および家族交流会等を実施

④ユニット行事 （買物・食事外出）発寒イオン・和食レストラン「とんでん」
（散策外出）北海道神宮・動物園・大通公園・水道記念館・ともいき保育園
桑園イオン・中島公園・八紘学園・ロイズコーヒー・テレビ塔
（室内行事）クリスマス会・おやつ作り・ひな祭り・茶話会・屋上日光浴

（4）給食の実施状況

①主食である米や汁物をフロアごとに盛り付けを行う適温化を実施した
②入居者個々の嗜好や状況に合わせつつ栄養状態等にも配慮した食事を提供した
③日々の清掃による衛生管理の徹底と、食の安全の確保に努めた
④食材等仕入れについて、効率よくコストの削減に務めるとともに、食材の工夫に取り組んだ

（5）保健衛生

①入居者個々の体調の変化に注意し、医師・スタッフとの連携により変化の早期発見に努め、適切な医療に繋げることができた
②精神的・身体的に安心した生活が送れるよう努めた
③各職種間での連携・情報共有により適切なサービスの提供に努めた
④感染症の発生時の早期対応と予防に努めた
⑤家族に対し、連絡事項の伝達や入居者の状態報告をこまめに行い、信頼関係の構築に努めた

（6）職員研修実施状況

内部研修（事故防止・感染症・排泄介助等）の他、摂食・嚥下障害等に関する講習会等に延べ176名が出席
外部研修には認知症介護実践者研修、老人福祉施設研究大会、社会福祉法人の社会貢献研修会等に延べ76名の職員を派遣

（7）固定資産取得状況等（大規模修繕を含む） ・3モーター底床ベッド 3台

（8）主要委員会の実施状況

（定例開催） 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
企画委員会、研修委員会、処遇・認知症ｹｱ・ｹｱﾌﾟﾗﾝ委員会、入所検討委員会ほか

（9）事故発生状況（ユニット型・従来型合計）

転倒		転落		ずり落ち		座り込み		変色		腫れ	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
27	72	2	21	2	30	1	8	4	57	1	3
擦り傷		出血		痛み		誤薬		その他		合計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
13	10	31	16		5	10	3	36	40	127	265

A=アクシデント I=インシデント

札幌市報告対象の事故

ユニット型	19
従来型	8

（10）苦情の状況等

0件

（11）その他

①ボランティア 行事やクラブ活動、お話相手、軽作業等 10団体42個人（活動総人数約1,550人）
②世代間交流 大谷幼稚園、白石幼稚園、ともいき保育園の園児児童による施設訪問、HBC少年少女合唱団のクリスマス交流会
③地域交流 札幌医師会コーラスグループ、定期演奏会（毎月：3月から地域町内会からの参加を呼びかけ）
④見学 市立大学看護部学生、札幌市新採用職員、北海道ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞｾﾝﾀｰ受講生、介護の職場施設紹介見学ツアー等
中央区西まちづくりセンター60名、桑園民生委員23人
⑤実習・体験学習 「認知症実践者研修 1団体15名」「社会福祉士実習 4校4名」
「介護職員初任者研修 5団体37名」「介護等体験 2校2名」「中学校職業体験 2校4名」
⑥木洩れびの家 地域の住民や団体、施設サービス利用者の交流や散歩途中の憩いの場所等を目的とした活動

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	21	19	16	18	17	19	20	14	13	24	29	29	239
家族	6	6	7	2	1	89	8	4	9	21	17	24	194
職員	12	10	9	5	7	5	3	13	17	0	0	0	81
実習生	0	32	156	56	21	21	103	57	6	0	0	1	453
一般	39	30	57	42	24	25	26	87	43	35	43	54	505
合計	78	97	245	123	70	159	160	175	88	80	89	108	1,472

9. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型：定員80名）

（1）利用状況

	在籍者数（年度末現在）	年齢（年度末現在）						年度内入退所		年度内入院者	
								入所	退所	慈啓会	その他
男	13	最低	51	最高	96	平均	80.8	6	9	14	1
女	66	最低	61	最高	103	平均	87.4	22	20	39	8
計	79					平均	86.3	28	29	53	9

介護度（年度末現在）	
男	4.00
女	4.05
平均	4.04

・年間平均稼働率 95.7%（1年間の現在数（入院者・外泊者を除く）÷定員×365日）

（2）防災訓練実施状況（夜間想定） ①9月27日（4施設合同・防火） ②11月30日（4施設合同・防災） ③3月22日（防火）

（3）行事・クラブの実施状況

①定例行事 定期演奏会(札響)12回、紙芝居20回、いきいきクラブ11回、
イトーヨーカドーふれあいショッピング3回、誕生会

②季節行事 御施餓鬼法要（春・秋）、クリスマス会、忘年会、新年会等を実施

③地域交流・家族交流会等行事
夏祭り、盆踊り、敬老の日式典および家族交流会等を実施

④ユニット行事 （買物・食事外出）発寒イオン・和食レストラン「とんでん」
（散策外出）北海道神宮・動物園・大通公園・水道記念館・ともいき保育園
桑園イオン・中島公園・八紘学園・ロイズコーヒー・テレビ塔
（室内行事）クリスマス会・おやつ作り・ひな祭り・茶話会・屋上日光浴

（4）給食の実施状況

①主食である米や汁物をフロアごとに盛り付けを行う適温化を実施した
②入居者個々の嗜好や状況に合わせつつ栄養状態等にも配慮した食事を提供した
③日々の清掃による衛生管理の徹底と、食の安全の確保に努めた
④食材等仕入れについて、効率よくコストの削減に務めるとともに、食材の工夫に取り組んだ

（5）保健衛生

①入居者個々の体調の変化に注意し、医師・スタッフとの連携により変化の早期発見に努め、適切な医療に繋げることができた
②精神的・身体的に安心した生活が送れるよう努めた
③各職種間での連携・情報共有により適切なサービスの提供に努めた
④感染症の発生時の早期対応と予防に努めた
⑤家族に対し、連絡事項の伝達や入居者の状態報告をこまめに行い、信頼関係の構築に努めた

（6）職員研修実施状況

内部研修（事故防止・感染症・排泄介助等）の他、摂食・嚥下障害等に関する講習会等に延べ176名が出席
外部研修には認知症介護実践者研修、老人福祉施設研究大会、社会福祉法人の社会貢献研修会等に延べ76名の職員を派遣

（7）固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）

・厨房用冷凍冷蔵庫2台 ・厨房用冷蔵庫1台 ・ナースコールシステム

（8）主要委員会の実施状況

（定例開催） 職種会議、事故防止・感染症対策・身体拘束防止委員会、給食委員会、褥瘡予防委員会
企画委員会、研修委員会、処遇・認知症ケア・ケアプラン委員会、入所検討委員会ほか

（9）事故発生状況（ユニット型・従来型合計）

転倒		転落		ずり落ち		座り込み		変色		腫れ	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
27	72	2	21	2	30	1	8	4	57	1	3
擦り傷		出血		痛み		誤薬		その他		合計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
13	10	31	16		5	10	3	36	40	127	265

A＝アクシデント I＝インシデント

札幌市報告対象の事故

ユニット型	19
従来型	8

（10）苦情の状況等

1件 （看護職員の態度・関わり方について）

（11）その他

①ボランティア 行事やクラブ活動、お話相手、軽作業等 10団体42個人（活動総人数約1,550人）
②世代間交流 大谷幼稚園、白石幼稚園、ともいき保育園の園児児童による施設訪問、HBC少年少女合唱団のクリスマス交流会
③地域交流 札幌医師会コーラスグループ、定期演奏会（毎月：3月から地域町内会からの参加を呼びかけ）
④見学 市立大学看護部学生、札幌市新採用職員、北海道カウンセリングセンター受講生、介護の職場施設紹介見学ツアー等
中央区西まちづくりセンター60名、桑園民生委員23人
⑤実習・体験学習 「認知症実践者研修 1団体15名」「社会福祉士実習 4校4名」
「介護職員初任者研修 5団体37名」「介護等体験 2校2名」「中学校職業体験 2校4名」
⑥木洩れびの家 地域の住民や団体、施設サービス利用者の交流や散歩途中の憩いの場所等を目的とした活動

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	21	19	16	18	17	19	20	14	13	24	29	29	239
家族	6	6	7	2	1	89	8	4	9	21	17	24	194
職員	12	10	9	5	7	5	3	13	17	0	0	0	81
実習生	0	32	156	56	21	21	103	57	6	0	0	1	453
一般	39	30	57	42	24	25	26	87	43	35	43	54	505
合計	78	97	245	123	70	159	160	175	88	80	89	108	1,472

10. 慈啓会短期入所生活介護事業所(ユニット型:定員10名)

(1)利用状況等

	利用のべ人数	利用のべ日数	平均利用日数	利用者介護度								
				支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中等	計
男	136	455	3.35	3	1	34	45	41	9	3	0	136
女	614	2,589	4.22	0	14	133	138	188	46	95	0	614
計	750	3,044	4.06	3	3	167	183	229	55	98	0	750

・平均稼働率 83.3%(1年間の利用者数÷定員(10名)×365日)

(2)食事数及び送迎状況

送迎回数			食事数			
迎え	送り	合計	朝食	昼食	夕食	合計
534	474	1,008	2,435	2,986	2,472	7,893

(3)防災訓練実施状況 ……

(4)行事・クラブの実施状況 ……

(5)給食の実施状況 ……

(6)保健衛生 ……

(7)職員研修実施状況 ……

} 特養と同内容のため省略

(8)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)
なし

(9)各委員会等の実施状況 …… 特養と同内容のため省略

(10)事故発生状況 (ユニット・従来型合計)

転倒		転落		ずり落ち		座り込み		変色		腫れ	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

擦り傷		出血		痛み		誤薬		その他		合計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
0	0	2	0	0	0	0	0	5	9	7	12

A=アクシデント I=インシデント

札幌市報告対象の事故

ユニット型	7

(11)苦情の状況
なし

(12)その他 …… 特養と同内容のため省略

１１．慈啓会デイサービスセンター（一般型）

〔1〕 利用状況 （平成29年3月末日現在）

	要支援		要　介　護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人員	14	13	37	17	5	0	2	88
延利用数	921	1152	4125	1512	365	4	123	8,202

〔2〕年度内新規・廃止利用者

	合計
新規利用者	43
中断利用者	1
再開利用者	0
廃止利用者	24

※ 利用中断より3ヶ月をもって廃止とする。

〔3〕年齢（平成29年3月末現在）

	在籍者	最低	最高	平均
男	18	73	88	82
女	70	66	102	86
合計	88			84

〔4〕 稼働率

	平均／定員	稼働率
一般型	26.8人／35名	76.0%

〔5〕 苦情数・事故数

苦情数 － 0 件

事故数 － 7 件

〔6〕行事の実施状況

誕生会（毎月1週間） ・風呂の日 （毎月第4週目の1週間）

・4月（お花見バスレク ）・5月（花見バスレク）・6月・7月（社会科見学日糧パン・札幌ファクトリー）・8月（夏祭り）
・9月（敬老会）・10月（紅葉バスレク）・11月（回転寿司なごやか亭）・12月（クリスマス会）
・1月（初詣・北海道神宮 頓宮）・3月（昼食作りレク） おにぎり作り

＜毎月＞

・生き生き体操&ゲーム（毎日） ・個別機能訓練（毎日） ・定期演奏会（最終週）
・茶道教室（毎月金曜日 2回実施）・紙芝居（第3水曜日）
・長栄会踊りと唄（毎月1回）・レクリエーションボランティア（毎週水・土曜日） ・外出レクボランティア（随時）
・傾聴・整髪・配膳ボランティア（毎週月・火・水・金曜日） ・麻雀ボランティア（毎月第2月曜日）

〔7〕行事食の実施状況

・誕生会食 ・食事作りレク ・夏祭り ・敬老会 ・クリスマス会・ 新年会（鍋）・昼食作りレク（おにぎり作り）

〔8〕職員研修実施状況

H28. 7/26 「認知症実践者リーダー研修」 （小野寺）
10/20 「コニュニケーションスキル向上」 （山谷・後藤）
10/28 「認知症の脳のしくみを理解する」 （後藤・高谷）

〔9〕実習生受け入れ状況

・介護福祉士等実習生 15名/介護等体験職場実習 5名

１２. 慈啓会デイサービスセンター（認知症対応型）

〔1〕 利用状況 （平成29年3月末日現在）

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人員	0	0	0	2	7	5	1	15
延利用数	0	0	70	277	678	472	8	1,505

〔2〕年度内新規・廃止利用者

	合計
新規利用者	11
中断利用者	0
再開利用者	0
廃止利用者	3

※ 原則、利用中断より3ヶ月をもって廃止とする。

〔3〕年齢（平成29年3月末現在）

	在籍者	最低	最高	平均
男	4	78	89	84
女	12	88	98	89
合計	16			87

〔4〕 稼働率

	平均／定員	稼働率
認知症	5.0人 ／12名	40.5%

〔5〕 苦情数・事故数

苦情数 － 1 件

事故数 － 8 件

〔6〕行事の実施状況

誕生会（毎月1週間） ・風呂の日 （毎月第4週目の1週間）

・4月（お花見バスレク ）・5月（花見バスレク）・6月・7月（社会科見学日糧パン・札幌ファクトリー）・8月（夏祭り）
・9月（敬老会）・10月（紅葉バスレク）・11月（回転寿司なごやか亭）・12月（クリスマス会）
・1月（初詣・北海道神宮 頓宮）・3月（昼食作りレク） おにぎり作り

＜毎月＞

・生き生き体操&ゲーム（毎日） ・個別機能訓練（毎日） ・定期演奏会（最終週）
・茶道教室（毎月金曜日 2回実施）・紙芝居（第3水曜日）
・長栄会踊りと唄（毎月1回）・レクリエーションボランティア（毎週水・土曜日） ・外出レクボランティア（随時）
・傾聴・整髪・配膳ボランティア（毎週月・火・水・金曜日） ・麻雀ボランティア（毎月第2月曜日）

〔7〕行事食の実施状況

・誕生会食 ・食事作りレク ・夏祭り ・敬老会 ・クリスマス会・ 新年会（鍋）・昼食作りレク（おにぎり作り）

〔8〕職員研修実施状況

H28. 10/28 「認知症の脳のしくみを理解する」 （藤井）

〔9〕実習生受け入れ状況

・認知症介護実践者研修 6名/認知症実践者リーダー研修 2名

１３．慈啓会訪問介護

２０１６

１．ホームヘルパー数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
登録ヘルパー	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7
合　　計	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10

２．利用人員と要介護度別利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	実人員	平均実人員
	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数	延利用数
要支援１	28	28	28	28	29	30	28	30	28	28	29	31	29
	125	134	143	129	149	142	127	139	137	131	133	162	1,651
要支援２	21	21	20	19	18	18	17	16	16	16	15	17	18
	115	125	114	106	105	105	96	90	88	73	79	97	1,193
要介護１	10	8	9	9	9	12	11	12	13	12	11	11	11
	99	78	96	79	88	99	99	103	105	97	88	97	1,128
要介護２	10	10	13	13	13	14	12	12	9	11	8	7	11
	93	106	113	141	142	121	110	113	91	74	48	58	1,211
要介護３	3	3	3	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2
	37	37	37	30	27	26	25	25	25	24	29	41	363
要介護４	1	1	1	2	2	2	1	1	1				1
	9	8	9	18	7	4	4	4	1				64
要介護５									1	1	1		1
									7	6	3		16
合　　計	73	71	74	73	72	77	70	72	69	69	66	68	71
	478	488	512	503	518	497	462	474	454	405	380	455	5,626

３．派遣内容別件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防訪問介護	240	259	257	235	254	247	223	229	225	204	212	259	2,844
身体介護	9	7	2	6	4	14	19	22	14	9	4	5	327
生活援助	146	143	183	184	198	165	156	170	154	133	115	132	1,879
身体生活	83	79	70	78	62	71	64	53	61	59	49	59	788
合　　計	478	488	512	503	518	497	462	474	454	405	380	455	5,626

４．研修・会議等の実施

・11/18　実地指導

・月１回の定例スタッフミーティング、研修等実施状況

	内部研修	主な外部研修
４月	法改正/個人情報保護法	
５月	ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ/緊急時の対応	
６月	認知症介護	
７月	情報分析、考察	
８月	記録	北海道高齢者虐待防止推進研修会（基礎）
９月	高齢者の栄養について	
10月	調理実習/感染・食中毒	
11月	記録	
12月	高齢者虐待・身体拘束防止	
１月	病気の理解	「薬の知識」介護労働安定ｾﾝﾀｰ主催
２月	介護技術	「札幌市介護予防日常生活総合支援事業」
３月	事例検討／情報交換／ひやりハット報告	

・他事業所との連携

・自己研鑽のための研修参加　・「ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ法を学ぶ」　他

14. 慈啓会介護総合相談センター

(1)契約件数

契約者合計
190

(平成29年3月末日現在)

(2)契約者推移

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者		7	2	3	7	3	4	2	6	6	4	3	2	49
解約者		2	2	2	3	4	2	3	3	3	5	2	5	36
内訳	死亡	2	1	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	8
	入院	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	5
	入所	0	1	2	2	3	0	0	1	2	2	1	0	14
	転居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	変更	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	包括移行	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	2	5
	小規模多機能	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約者合計		182	182	183	187	186	188	187	190	193	192	193	190	

(3)ケアプラン作成者　(利用票・提供票作成者)

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	62	59	63	59	61	60	60	59	63	58	60	58	722
要介護2	33	36	37	41	41	39	41	44	44	44	40	39	479
要介護3	17	20	19	19	16	16	14	15	15	17	17	17	202
要介護4	9	8	9	9	9	9	7	7	7	6	7	9	96
要介護5	2	2	2	0	1	1	2	2	3	3	2	2	22
合　計	123	125	130	128	128	125	124	127	132	128	126	125	1,521

(4)要介護認定申請代行

新規申請	更新申請
0	76

(5)相談経路

電話(夜間・祝日)	来所	訪問	合計
750(78)	38	1,712	2,500(78)

(6)活動状況

①情報伝達会議・研修

会議	44
研修	13

②サービス担当者会議　189

(7)予防支援事業

実施していません。

１５.中央区介護予防センター旭ヶ丘

（１）総合相談支援業務

①相談件数

電話	訪問	面談	その他	計
67	2	8	2	79

②相談内容(重複あり)

介護保険制度	介護予防	保険福祉サービス	権利擁護	認知症	高齢者虐待	心身健康	住まい	その他
16	46	6	1	3	1	3	1	11

③相談結果

実態把握	介護予防事業参加	介護保険申請	包括紹介	関係機関連携	終了
4	18	1	11	7	38

（２）介護予防普及啓発事業

①事業別実施件数

すこやか倶楽部	転倒予防教室	認知症予防教室	相談会	イベント	計	参加者延数
38	8	6	2	2	56	1769

（３）地域福祉活動支援事業

①ボランティア等人材育成研修（一般住民等）

実施回数	参加者数
2	9

②立上げ支援したサロン等のうち、自主活動化した数

自主化の数
2

③介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援

民児協	福まち	町内会組織	老人クラブ	サロン	その他	計	参加者延数
1	7	2	1	9	11	31	451

④地域ケア体制の構築

地区地域ケア会議（運営主体）	２回
区地域ケア推進会議（参加）	１回
地区連絡会議（運営主体）	１０回
区連絡会議(運営主体)	９回
地区組織との連携	４回
その他関係機関との連携（中央区介護予防C連絡会含む）	２８回

⑤その他

シンポジウム・各種研修等	５回
自主研修（介護予防センター従事者情報交換会等）	４回

16. 稲寿園特別養護老人ホーム（定員100名）

(1) 利用状況等

	在籍者数（年度末現在）	年齢（年度末現在）						年度内入退所		年度内入院者		介護度（年度末現在）	
								入所	退所	慈啓会	その他		
男	13	最低	75	最高	88	平均	81.6	4	2	4	2	男	4.00
女	87	最低	58	最高	102	平均	86.9	19	19	41	18	女	3.95
計	100					平均	86.2	23	21	45	20	平均	3.94

・平均稼働率　96.6%（H27年度　平均稼働率 95.9%）

【考察】年間平均稼働率が96.6%で目標の96.5%を達成することができた。前年度の空床率1.1%に比べて今年度の空床率が0.5%と退所から入所までの期間を短縮できたことが成果に結びついたと考えられる。

(2) 防災訓練実施状況

1. 3月9日（自衛消防訓練）、3月17日（防災訓練・夜間想定）

(3) 行事・クラブの実施状況

○全体行事

稲寿園・ふれあいの郷合同夏まつり、敬老の日式典、クリスマス会、節分豆まき、雪明り喫茶、園内売店、歌のコンサート、アニマルセラピー、カラオケコンサート等

○地域交流・家族交流会等行事

手稲神社秋季例大祭、さわらび幼稚園園児訪問、前田中学校職場体験、稲陵中学校職場体験、稲陵中学特別支援学級敬老交流会、稲陵中学特別支援学級クリスマス交流会

○ユニット行事

・趣味活動（塗り絵・折り紙・ちぎり絵・パズル・紙芝居・季節の飾りつけ、野菜作り）
・流しそうめん、入居者参加料理作り等（お好み焼き、ホットケーキ、カキ氷、わたあめ等）
・外出行事（ソフトクリーム、焼肉寿司バイキング、レストラン外食、買い物等）

(4)給食の実施状況

・給食業務の委託化に向けて、計画的に準備を行ないながら、他セクションへの情報提供を適切に行い、直営から委託へスムーズに進むよう務めた。
・コスト意識を重視しながらも食材の質を見極め、ご利用者の嗜好に合わせた安全な食事提供を行なうことができた。

(5) 保健衛生

・感染症が疑われる入居者に対し、適切な対応を取ることで、施設内のまん延を防ぐことができた。
・昨年度のノロウィルス施設内感染を教訓として、施設内はもとより家族および地域の方に向けても感染予防策を徹底し、感染症に対する意識向上を図った。
・職員研修等において、感染症予防啓発および実践的な知識・技術向上に努めた。

(6) 職員研修実施状況

平成28年　7月4～5日 全道老人福祉施設研究大会　11月21日 社会福祉法改正緊急経営セミナ
1月20日 北海道老人福祉施設長研究セミナー　… 等（全29件）

(7) 委員会等の開催

・役職者会議・全体説明会等の開催により、施設運営の目指すべき方向性や情報の共有化を図った。
・各種委員会を定期的に開催し、多職種協働で課題の解決等に取り組み、質の高い支援サービスの提供に努めた。

○定期開催委員会（毎月・隔月）

身体拘束廃止対策委員会、事故防止対策（感染症対策・虐待防止含む）委員会、褥瘡対策委員会、処遇委員会、機能訓練委員会、行事委員会、給食委員会、衛生委員会、認知症ケア向上委員会

○随時開催委員会

医療的ケア対策推進委員会、防災委員会、広報委員会、研修委員会、苦情解決委員会

(8) 固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）

固定資産取得・・・富士通ｴｱｺﾝ1台、ノートパソコン2台、ロボクープ1台、超低床ﾍﾞｯﾄﾞ1台、ｾﾝｻｰ付低床ﾍﾞｯﾄﾞ3台
修繕・・・園庭樹木選定作業、担架背マット修理、電話移設工事、居室トイレ修理

(9) 事故発生状況

転倒・転落：50件、アザ・出血：19件、誤薬：2件、異食：2件、誤嚥・誤飲：0件、その他：0件　計 73件
（札幌市報告事例：8件→転倒による骨折1件、誤薬3件、頭部打撲2件、異食1件、その他1件）

(10) 苦情の状況等

3件（園庭にタバコの吸殻が散乱している等の件、職員の態度に関する件、個人情報の取扱いに関する件）

(11) その他

①ボランティア　行事、行事手伝い、お話し相手、業務手伝い等：　5団体と1個人(延べ270人)
②交流　さわらび幼稚園延べ 373名
③実習・体験学習　介護福祉士実習 2校4名、社会福祉士実習 6校7名、介護職員初任者研修0校0名、介護体験等実習 0校0名 、認知症介護実践者・認知症介護実践リーダー研修等2校8名

17. 稲寿園短期入所生活介護事業所（定員10名）

(1)利用状況等

	利用総人数	利用総日数	平均利用日数	利用者介護度								送迎回数	食事数		
				支1	支2	1	2	3	4	5	計		朝食	昼食	夕食
男	127	771	6.07	0	0	54	20	18	31	4	127	967	2,191	2,671	2,207
女	250	1,951	7.80	1	18	88	69	50	6	18	250				
計	377	2,722	7.22	1	18	142	89	68	37	22	377				

・平均稼働率　74.6%　(H27年度　平均稼働率　64.9%)

【考察】　前年度に比べて年間平均稼働率は9.7ポイント上昇した。介護・看護部門における重度化への対応、給食部門における行事食等への幅広い対応、相談員およびコンシェルジュによるケアマネジャーや家族への利用状況報告など、サービスの質の向上に努めた効果と考えられる。
（月間の最高稼働率は平成28年9月の87.3%、最低稼働率は平成29年1月の65.8%だった）

(2)防災訓練実施状況 ……

(3)行事・クラブの実施状況 ……

(4)給食の実施状況 ……

(5)保健衛生 ……

(6)職員研修実施状況 ……

特養と同内容のため省略

(7)固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）
なし

(8)事故発生状況
転倒・転落 8件、アザ・出血0件、誤薬1件、異食0件、誤嚥・誤飲0件、その他 0件　計9件
（札幌市報告事例：4件→転倒による骨折1件、頭部打撲3件）

(9)苦情の状況等
0件

(10)その他 …… 特養と同内容のため省略

18. 稲寿園デイサービスセンター

(1) 利用状況等

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
開設日数			26日	26日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	25日	24日	24日	27日	309日	303日
予防通所登録者数			22	22	21	23	24	23	22	22	22	22	24	23		
予防延利用者数			113	112	117	112	115	116	105	125	119	111	111	128	1,384	1,165
予防平均利用者数			4.3	4.3	4.5	4.3	4.2	4.4	4.0	4.8	4.7	4.6	4.4	4.7	4.4	3.9
通所介護登録者数			76	82	77	78	77	80	79	82	80	80	80	81		
通所延利用者数			490	512	503	540	545	529	538	524	503	515	507	574	6,280	6,266
通所平均利用者数			18.8	19.6	19.3	20.7	20.1	20.3	20.6	20.1	20.1	21.4	20.1	21.2	20.2	20.6
利用者数内訳	要支援	1	38	46	41	46	38	37	30	42	43	37	38	47	483	392
		2	75	66	76	66	77	79	75	83	76	74	73	81	901	773
	要介護	1	257	296	249	263	296	279	286	269	245	250	241	251	3,182	2,912
		2	161	149	179	167	165	155	152	161	163	185	184	232	2,053	2,282
		3	38	39	42	66	48	50	54	61	58	52	52	61	621	681
		4	21	17	20	21	27	32	34	19	24	14	23	16	268	352
		5	13	11	13	23	9	13	12	14	13	14	7	14	156	39

※1　予防と一般を含めた年間を通しての1日の平均利用者数は24.67人であった。(前年度より0.17人増)
※2　デイサービス全体の定員の数は前年度と変わっていないが、予防の利用者が増となった。
　　平成28年度の年間延利用者数は、前年度より233名(一般14名、予防219名増)増加した。
※3　平成28年度は新規登録者が41名、廃止は34名であった。

(2) 防災訓練実施状況【1回】
　① 3月17日

(3) 行事実施状況
- 歌のコンサート、誕生会などは、通例の行事として毎月実施した。
- 4月、3月には、前年度同様、小樽「かま栄」のドライブレクリエーションを行い、利用者の参加も多数あった。
- 5月のお花見は園庭にて1週間行った。
- 6月はアークス星置店での買い物行事を実施した。
- 7月には、毎年恒例の縁日夏祭りにて、昔懐かしのゲーム大会を実施した。
- 8月には、「流し素麺」と、昨年に引き続き「アイス外食」で夏の「食」と「涼」を楽しんでいただいた。
- 9月の敬老週間では、利用者参加型のクイズ大会と賀寿者への表彰を行い、好評だった。
- 10月には、新たな買い物行事として新発寒のロイズに変更し実施した。休むスペースもあり、見守りも行ない易かった。
- 11月には、すたみな太郎への外食行事を行い、バイキング食を楽しまれた。

(4) 給食の実施状況
　昨年同様、管理栄養士の協力を頂きながら、四季折々の季節感ある食材を使用し、彩りや盛りつけを工夫した食事の提供を心掛けた。その他、流し素麺、日替わり鍋など季節感のある食事提供の企画が出来た。

(5) 研修実施状況
　今年度は実績なし。

(6) その他
　・手稲区における通所サービス全体の活性化と交流を目的とした組織運営(手稲区通所サービス連絡会)を行った。

ボランティア実績	今年度	前年度
延べ日数	291	263
延べ人数	321	292

　他　・ピアノ演奏ボランティア(火曜日の午前)、コンサートボランティア(毎月)
　　・フラダンス、ピエロ大集合(9月)、伊藤多喜雄氏慰問コンサート(11月)、腹話術、日本舞踊ボランティア(12月)

(7) 固定資産取得状況等
　・デイサービスセンター送迎車輌(キャラバン)、ウィンケアライセンス(無形)

19. 稲寿園訪問介護

(1) 月別派遣状況等(前年度比較)

派遣回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	227	182	204	218	228	208	174	207	192	196	217	278	2,531
平成27年度	231	219	236	222	198	201	240	222	235	210	202	235	2,651

派遣時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	257.8	206.7	228.8	236.0	248.8	208.3	175.7	210.1	187.2	189.3	211.0	273.6	2,633.3
平成27年度	262.5	252.4	267.2	256.2	234.0	228.4	266.3	249.1	262.1	243.1	245.4	275.4	3,042.1

(2) 介護度別利用者状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	1	2	2	2	4	4	4	3	2	2	2	3	3	33
	2	7	6	6	8	8	8	7	9	8	8	7	5	87
要介護	1	8	8	9	9	11	9	9	11	11	12	12	15	124
	2	7	7	7	7	7	7	7	8	7	7	8	10	89
	3	1	0	2	1	0	1	1	1	1	1	2	2	13
	4	3	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	27
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計		28	26	28	31	32	32	29	33	31	32	34	37	373

(3) 職員研修・カンファレンス状況

① 定期研修　　：毎月1回実施

② カンファレンス　：毎月2回実施

20. 稲寿園介護総合相談センター

(1) 相談状況

(単位:人)

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
相 談	H.28年度	108	111	111	132	152	122	142	111	129	95	121	116	1,450
	H.27年度	96	104	89	113	106	63	76	74	129	107	85	91	1,133
訪 問	H.28年度	205	169	205	196	226	201	206	205	178	148	143	165	2,247
	H.27年度	167	154	130	159	174	136	152	124	162	147	145	157	1,807
合 計	H.28年度	313	280	316	328	378	323	348	316	307	243	264	281	3,697
	H.27年度	263	258	219	272	280	199	228	198	291	254	230	248	2,940

※前年度と比べ軽度者の相談が多く、区の地域包括支援センターとは連携をとることができた。

(2) 居宅介護支援実利用者状況(年度末現在)

	年度	実利用者数	年齢					
男 性	H28年度	35	最低	73	最高	95	平均	85.33
	H27年度	40	最低	67	最高	96	平均	83.29
女 性	H28年度	87	最低	65	最高	100	平均	86.25
	H27年度	69	最低	63	最高	98	平均	84.66
合計	H28年度	122					平均	86.01
	H27年度	109					平均	84.93

登録者数:待機者数

(単位:人)

	年度	登録者	待機者
男性	H28年度	43	3
	H27年度	42	1
女性	H28年度	95	4
	H27年度	78	2
合計	H28年度	138	7
	H27年度	120	3

※前年よりも実利用者数は増えたが、要支援者も多い結果となった。しかし、後期は要介護認定の相談も徐々に増え始めている。

(3) 月別利用者数

(単位:人)

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援1	H28年度	8	9	9	15	15	14	15	16	16	15	19	14	165
	H27年度	7	7	7	7	7	7	7	8	8	7	8	8	88
要支援2	H28年度	12	11	12	14	12	12	12	14	18	19	15	17	168
	H27年度	10	10	10	10	11	9	8	8	7	10	13	12	118
要介護1	H28年度	44	43	44	44	47	50	49	49	48	46	43	42	549
	H27年度	52	49	45	46	47	47	48	47	48	47	46	45	567
要介護2	H28年度	31	30	32	31	35	33	31	34	32	36	34	35	394
	H27年度	39	40	38	37	37	35	29	29	29	29	27	30	399
要介護3	H28年度	10	12	10	12	14	12	12	12	11	11	8	9	133
	H27年度	10	10	9	9	8	9	7	7	7	7	9	9	101
要介護4	H28年度	3	1	1	1	1	2	4	4	4	4	3	3	31
	H27年度	5	6	5	4	5	4	4	4	4	4	3	3	51
要介護5	H28年度	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	16
	H27年度	1	1	1	1	2	2	2	1	1	0	2	2	16
合 計	H28年度	109	107	109	118	125	125	125	130	130	132	124	122	1,456
	H27年度	124	123	115	114	117	113	105	104	104	104	108	109	1,340

(4) 研修会等出席状況

内部研修のほか、「手稲区ケアマネジメント能力向上研修会」等、15件の外部研修に出席した。

(5) その他

平成28年度特定事業所集中減算は前期、後期ともに指摘事項、減算なし

21. 菊寿園軽費老人ホームＡ型(定員 50 名)

（1） 利用状況等

	在籍者数（年度末現在）	年齢（年度末現在）						年度内入退所		年度内入院者	
								入所	退所	慈啓会	その他
男	9	最低	64	最高	89	平均	77.9	3	0	1	3
女	２９	最低	64	最高	98	平均	84.1	7	4	0	10
計	３８					平均	82.6	10	4	1	13

・平均在籍者数 36.58 名 73.2% 平均介護度 0.68 (参考に平成 27 年 0.80)

（2）· 防災訓練実施状況

① ４月２５日・(夜間想定) ②６月２７日（公団・乳児園と合同）

② １０月７日（夜間想定：公団・乳児園と合同） ④１月３０日（防災ビデオ上映）

（3）行事・クラブの実施状況

①定例：誕生会、カラオケ月２回（1回は講師来園)、クラブ活動（花札、カルタ、トランプ)、輪投げ大会、ストラックアウト大会、買物の日、映画会、ラジオ体操、介護予防体操、介護予防教室、全体懇談会、ゲーム大会、園内ショッピング（食品、衣類）

②季節行事：バスレク、夏まつりバイキング、御施餓鬼法要、忘年会、新年会、百人一首大会、きらく会行事、敬老の日式典・祝宴(お好み寿司)、ショッピングデー（園車使用)、クリスマスランチ、もちバイキング、かき氷の日、初詣、鍋の日、ジンギスカンの日、節分豆まき、雛祭りバイキング

③その他：各種ボランティア・訪問・招待・交流会（乳児園、保育園等）の受け入れ

（4）給食の実施状況

給食時間 朝 ７：３０～ 昼 １２：００～ 夜 １７：３０～

①ご馳走の日・バイキング等の実施 ②ADL 低下者に配慮した対応（時間前の誘導、配下膳の一部介助等)。

（5）保健衛生

①嘱託医による定期診察、定期処方及び臨時処方による治療。

②施設内感染防止対策として、手洗い（消毒殺菌水使用)、うがい励行の啓発、環境の保清化、次亜塩素酸による各居室ドアノブ、手すり等の消毒、手指消毒液を玄関・食堂前に設置、適切な手洗いについて職員・利用者に講話実施。

③インフルエンザ予防接種を積極的に行い、うがい・手洗い等で冬期間の風邪予防。

④週１回血圧測定、２ヶ月１回体重測定、年２回健康診断を行い健康保持。

⑤認知症、ADL 低下者への対応(洗濯・掃除・入浴の一部介助)。

⑥介護予防に関する保健指導、介護予防教室への参加推進、健康講話の開催。

（6）職員研修実施状況

養護・軽費老人ホーム職員交流研修会、札幌市老人福祉協議会 生活相談員研修会、高齢者の救命講習会、結核・感染症研修会、平成２８年度特定給食 施設等研修会

（7）固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）

ボイラー室暖房ラインポンプ取替工事、２・３階居室網戸張替工事、ボイラー室受水槽定水弁取替工事、２・３階居室・事務室等ドアシリンダー取替工事、３２３号室内装改修工事、２階男子トイレ手摺取付工事、正面玄関自動ドア仕様変更・電気機器取付工事

（8）その他

アンケートによる満足度調査の実施、介護予防体操の継続実施（週に１回)、地区の介護予防センターとの連携、札幌市菊寿園運営協議会実施

22. 拓寿園軽費老人ホームB型（定員５０名）

（１）利用状況等

	在籍者数（年度末現在）	年齢（年度末現在）						年度内入退所		年度内入院者	
								入所	退所	慈啓会	その他
男	5	最低	71	最高	87	平均	75.6	2	2	0	2
女	36	最低	63	最高	89	平均	78.9	5	6	0	11
計	41					平均	78.5	7	8	0	13

・平均稼働率　81.17%(毎月1日現在在籍数)

（２）防火訓練実施状況
１．　10月4日（夜間想定）　　２．　3月21日（昼間想定）

（３）行事・クラブの実施状況
・定例行事・クラブ活動
誕生会（月１回）、全体懇談会（毎月）、血圧測定（月１回）、カラオケクラブ（月２回）
、園長杯ゲートボール大会（５回）・ゲートボールクラブ（随時）
・季節行事
野外昼食会（お花見）、いちご狩りツアー、夏祭り、秋の日帰り旅行、敬老会、クリスマス・忘年会
新年交礼式、新年会（鍋の日）、節分（豆まき）、雛祭り茶話会

・その他
福祉制度講話会（月１回）、介護予防教室（月２回）、ふまねっと運動（月２回）、きらく会GB・ゲーム大会、
屯田地区ふれあい福祉週間輪投げ大会・屯田地区一人暮らしお年寄りとの昼食懇談会、日赤奉仕団園内清掃、
有朋高校生との交流会・企業見学会・夏祭りや除雪ボランティア受入れ、理事長杯スポーツ大会、
きらく会演芸交流会、買い物ツアー、健康歩こう会、リンパマッサージ教室、映画鑑賞会

（４）給食の実施状況
・なし

（５）保健衛生
・協力医（ふるや内科）及び各医療機関と連絡体制を密にし、疾病の早期発見、早期治療に努めた。
・要介護要支援認定者等に対して、担当ケアマネジャー及び各福祉医療機関との連携に努めた。
・10・3月の年２回、健康診断を実施した。
・インフルエンザ予防接種は、10月から11月にかけ、協力医又はかかりつけ医にて実施するように
日頃より呼びかけし、希望者に実施。
・食中毒やノロウイルス等の感染症予防は、全体懇談会での啓発等にて指導・注意を呼びかけた。

（６）職員研修実施状況
・全国老人福祉施設大会（石川大会）高齢者虐待防止推進研修会、認知症介護基礎研修、法人職員研修会、
防火管理技能講習会、救命講習会、札幌市老人福祉施設生活相談員研究会に参加。

（７）固定資産取得・処分状況(構築物、器具備品)
・玄関前雨除けテラス屋根設置：９月設置
・テーブル用台車：３月処分

（８）大規模修繕・改修
・入居に伴うリフォーム工事（５室）
・屋外通路舗装工事
・１階アコーディオンカーテン取替工事
・屋外発電室排気筒取替え工事
・集会室壁紙張替え工事
・風呂場タイル張替え工事
・２階給水流し台取替え工事
・在園者表示板取替え工事
・玄関ドア取替え及び床タイル張替え工事
玄関ホール壁改修工事

（９）その他

・アンケートによる満足度調査の実施：1月
・床ＷＡＸ清掃の実施（年２回）
・札幌市拓寿園運営協議会開催：3月

23. 慈啓会老人保健施設(入所定員 90名、通所定員 40名)

(1)利用状況等

【施設サービス】

	在籍者数(年度末現在)	年齢(年度末現在)						年度内入退所		年度内入院先		介護度(年度末現在)	
								入所	退所	慈啓会	その他		
男	9	最低	67	最高	93	平均	80.8	9	11	4	2	男	2.44
女	74	最低	70	最高	105	平均	88.7	70	73	34	26	女	3.04
計	83					平均	87.7	79	84	38	28	平均	3.02

【短期入所療養介護】

	在籍者数(年度末現在)	年齢(年度内)				年度内入退所	
						入所	退所
男	0	最低	60	最高	87	9	9
女	1	最低	73	最高	95	40	40
計	1					49	49

【通所リハビリテーション】

	利用者数(年度末現在)	利用実数(3月分)		年齢(月末現在)					
男	12	男	25	最低	66	最高	91	平均	81.0
女	14	女	49	最低	66	最高	101	平均	83.1
計	26	計	74					平均	82.5

(2)防災訓練実施状況

1. 28年9月27日(夜間想定)、28年11月30日(夜間想定)

(3)年間行事・交流会・趣味活動の実施状況

【行事・交流会】誕生会、外出訓練、夏祭り、敬老会、鍋会、
おやつ作り、新年会、映画鑑賞会、アニマルセラピー、
保育園・幼稚園児慰問

【趣味活動】麻雀、カラオケ、手芸、折り紙・うた・手遊び他

(4)委員会及び会議

①行事 ②生活向上 ③食事 ④感染・研修 ⑤安全推進・身体拘束ゼロ・褥瘡予防
⑥ケアプラン検討 ⑦広報 ⑧苦情処理 ⑨施設運営会議 ⑩リーダー会議 ⑪管理者会議

(5)給食の実施状況

給食時間 朝 8:00 昼 12:00 夕 18:00

・保温食器の導入等による適温適時給食の実施
・嗜好調査の実施(4～12月)
・特別食(治療食)への対応
・主食、デザートバイキングの実施
・行事食では季節感、食材のバリエーション等、食事による利用者の精神的活性化
・個々の身体状況を考慮した食形態や栄養補助食品の工夫等

(6)保健衛生

・毎食後の口腔ケアを継続。 ・感染症の疑いのある時は速やかに隔離対応し、拡大を防いだ。
・インフルエンザ予防接種の実施と入所時の肺炎球菌ワクチン接種。
・気温・湿度の管理をしっかりと行い、感冒流行の兆しが認められた時は早期対応を行い、
罹患者を最小限にとどめるよう努めた。

(7)職員研修実施状況

【施設外研修】

・北海道老人保健施設大会 ・認知症ケア研修 ・認知症実践者研修
・リスクマネジメント研修 ・その他施設外研修に参加

【施設内研修】

・食中毒研修 ・リスクマネージメント研修 ・転倒、転落セミナー
・スタンダードプリコーション ・認知症サポーター研修 ・その他

(8)事故発生状況及びヒヤリハット

事故報告 : 年度累計76件(転倒22件、外傷21件、ずり落ち4件、他29件。内、骨折事故4件)
ヒヤリハット : 161件

(9)苦情の状況等

計0件

24. 慈啓会病院

Ⅰ 基本方針

法人の経営理念および慈啓会病院の理念に沿って品格ある病院づくりをめざし、病院経営の総合的かつ質的向上を図ることを目的に次の項目を基本方針として運営を推進した。

1.最良の医療・福祉・保健のサービスを行うこと。

2.老年内科・認知症治療のほか成年・壮年層も対象にした生活習慣病の専門病院とすること。

3.無料・低額診療事業となる生活困窮者の診療を積極的に行うこと。

4.地域の方々の健康維持に貢献するため情報と場を提供すること。

5.障害者支援として職員の採用を行うこと。

Ⅱ 事業計画

今年度は診療報酬改定年度であり、その内容もマイナス改定であったが、次のとおり各部門の共通目標、各部門毎の目標達成をめざして事業を展開し、計画に沿った取り組みを進めてきた。

1. 各部門の共通目標

(1) 医療はサービス業であることを認識すること。

(2) リスクマネージメントの徹底を図ること。

(3) チーム医療の徹底・促進を図ること。

(4) SAFE(Speed、Accuracy、Feedback、Exact)を重視すること。

(5) PDCA(Plan、Do、Check、Action)を徹底すること。

(6) 診療報酬等制度改定に適切に対処し、コスト意識の底辺拡大を図ること。

(7) 各部門のリーダーおよび人材の育成を図ること。(特に各メディカルスタッフの人材育成急務)

2. 各部門の個別目標

(1) 病院経営に関する事項

- 平成30年度の診療報酬・介護報酬同時改定に対応すべく取り組んだ病院変革であるが、第一弾として臨んだ「療養病棟ランクアップ」については平成28年9月に達成、第二弾の「3階地域包括ケア病棟転換」については平成29年3月に施設基準をクリアした。
- 外来収入については予算未達であった。入院収入に関わる稼働率は、予算を達成できなかったが、金額ベースでは達成した。
- 一般外来患者の増加を含めた収入確保対策として、近隣クリニックへの訪問営業、地域の市場調査と分析によるマーケティング活動、肺炎球菌ワクチン対象者の掘り起こしなどを行った。
- 患者確保および地域との連携対策として、サブアキュート・ポストアキュートへのアプローチとしてクリニック及び病院への営業を積極的に実施し、後方支援病院としてのアピールを行った。
- 診療報酬改定における項目について院内で収支バランスを理解させることに努めた。
- 支出削減対策については、過年度同様に削減意識を高めて取り組んだ。

(2) 患者サービスに関する事項

- 薬剤、放射線、検査サービス対策は、電子カルテの導入により情報伝達が迅速かつ確実に行うことが可能となり、薬剤の処方や検査等も同様に従来よりも正確でスピーディーな処理が実現できている。
- 食事療養サービス対策は、屋外食や行事食を積極的に実施するとともに各病棟で季節にあった食事提供し、患者の皆様に喜んでいただけた。
- アメニティ対策として、売店、理容室、レストラン等での内容充実と安全確保を図った。
- 患者、家族との信頼関係対策は、職員間のコミュニケーションを活発に行い、情報の共有化を推し進めるとともに、患者様やご家族とのコミュニケーションも職員側から積極的に行うよう努めた。

3. 外来・入院状況

(1) 外来患者数・収入 (診療日数・H28:294日 ・H27:297日) (人・千円)

	当初予算	H28実績	対予算比	前年実績	対前年比
一日平均患者数	129.8	120.8	93.1%	123.5	97.8%
外来収入	134,606	132,276	98.3%	136,061	97.2%

(2) 入院・病棟別平均稼働 (人)

病　棟	病床数	当初予算	H28実績	対予算比	前年実績	対前年比
2F/障害者	48	45.0	44.0	97.8%	43.6	100.9%
3F/一般	44	41.0	37.4	91.2%	39.2	95.4%
4F西/療養	44	42.5	43.4	102.1%	42.3	102.6%
内科計	136	128.5	124.8	97.1%	125.1	99.8%
4F東/精神	44	42.0	41.1	97.9%	39.9	103.0%
5F/認知症	55	52.0	50.2	96.5%	53.2	94.4%
精神科計	99	94.0	91.3	97.1%	93.1	98.1%
合　計	235	222.5	216.1	97.1%	218.2	99.0%

(3) 入院収入 (千円)

	当初予算	H28実績	対予算比	前年実績	対前年比
入院収入	1,686,704	1,691,400	100.3%	1,677,367	100.8%

25. 啓明ともいき保育園

(1) 在籍状況(90名定員)

	在籍数	入所率(%)	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上
4月	96名	106.7	6名	33名	20名	37名
5月	96名	106.7	6名	33名	20名	37名
6月	98名	108.9	8名	33名	20名	37名
7月	96名	106.7	8名	32名	20名	36名
8月	97名	107.8	8名	32名	20名	37名
9月	99名	110	9名	34名	19名	37名
10月	99名	110	9名	34名	19名	37名
11月	99名	110	9名	34名	19名	37名
12月	97名	107.8	9名	33名	19名	36名
1月	99名	110	10名	33名	19名	37名
2月	99名	110	10名	33名	19名	37名
3月	99名	110	10名	33名	19名	37名

(2) 防災訓練実施状況

- 園児及び職員による避難訓練(通報訓練、消火訓練、地震想定含む)・不審者訓練を毎月実施する。
- 6月には中央消防署警防課幌西出張所立会いのもと、総合避難訓練を実施する。

(3) 行事の実施状況

- 4月3日(月)、16名の新入園児を迎え、入園お祝い会を開催した。
- 【定例行事】

  誕生会(毎月)、園医健診(毎月)、歯科健診(年1回)
- 【季節行事】

  遠足、お祭りごっこ(おみこし・縁日)、七夕、バス遠足、運動会、生活発表会、クリスマスお楽しみ会、新年お楽しみ会、節分(豆まき)、おみせやさんごっこ、ひな祭り、お別れ会食会、卒園式
- 【その他】

  保護者懇談会、保育参観、個人懇談会、観劇(人形劇)、交通安全教室(2回)、絵本わくわくキャラバン
  連携保育園(伏見すみれ保育園)との交流
  年長児の主な活動(防災センター、シルエット劇場観劇、青少年科学館見学など)
  特別養護老人ホーム(デイサービス利用者)との交流会～子ども達手作りのおみこしを披露する。
  外出レク交流(利用者の方が園にきて園児と交流)
  特別養護老人ホームとの交流会(2回)～オペレッタ、歌、楽器演奏、踊りなどを披露する。

(4) 給食の実施状況

- 札幌市の基本献立を基に実施し、園児に提供。
- 給食便りを発行。子ども達に人気のあるものや季節の食材によるメニューの紹介。
- 子ども達が意欲的に食に関われるように、年齢ごとに計画した食育の実施と、ハイキング・クッキングを行う。

(5) 事故発生状況

肘内障(2件)、頭部打撲(3件)、歯の打撲(2件)、目の打撲(1件)、足の指打撲(1件)
顔の擦過傷(1件)

(6) 保健衛生

- アタマジラミの発生に伴い、頭髪検査、衣類・寝具の管理、午睡後の掃除などを徹底的に行なう。その都度、保護者に周知し、まん延を防ぐ。
- 感染症の予防に努め、手洗い・うがいを励行し、共用部分の清拭・消毒を行う。疑わしい場合は児童を隔離して消毒をこまめに行い、拡大感染防止に努める。

(7) 職員研修実施状況

- 救急法セミナー、保育園における乳幼児の安全保育、給食・食育関係者研修、保育指針講座など。
- 札幌市私立保育園連盟主催の研修会に積極的に参加する。
- 内部研修(「リスクマネジメントセミナー」「接遇」「障がい児保育」)を実施。

26. 中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所

中央区第2地域包括支援センター

(1)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	64	68	60	47	55	66	61	47	49	44	52	62	675

(2)二次予防事業対象者把握数とケアプラン作成数・終了数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
チェック数	29	14	7	1	1	11	3	10	0	0	0	0	76
作成数	0	9	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	17
終了者数	0	0	4	1	1	16	3	13	0	0	0	0	38

(3)会議開催、参加等

	運営主体	参加
① 個別地域ケア会議	2	
② 個別地域ケア会議の準備会	4	
③ 地区地域ケア会議	3	
④ 地区連絡会議	18	
⑤ 区地域ケア推進会議	2	
⑥ 区連絡会議	22	
⑦ 市地域ケア推進会議		3
⑧ ①②以外のケース検討会議	4	2
⑨ 運営推進会議等		33
⑩ 介護支援専門員連絡協議会		6
⑪ 地区組織との連携	6	24
⑫ 医療機関との連携	1	0
⑬ その他関係機関との連携	81	49
合 計	143	117

中央区第2介護予防支援事業所

(1)登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	774	776	781	780	778	767	774	773	776	777	764	783	
解約者数	15	15	27	19	25	17	23	17	0	19	8	20	205
未利用者	101	87	86	86	83	77	87	79	80	86	83	89	

(2)給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	22	23	19	21	14	15	18	28	14	11	19	21	225
継続利用数	651	666	676	673	681	675	669	666	682	680	662	673	8054
合 計	673	689	695	694	695	690	687	694	696	691	681	694	8279

(3)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	962	1317	1333	1312	1260	1284	1352	1287	1294	1372	1463	1281	15517

(4)活動状況

① 包括業務連絡会議 12回　② 研修会・参加者数 32回/ 78名(延べ人数)
③ 虐待対応関係会議 9回　④ 研修会開催 3回

全体のまとめ

平成28年は、前年度同様の11名体制(保健師2名、主任介護支援専門員2名、社会福祉士3名、介護支援専門員3名、事務員1名)。
【総合相談】初回介入時には、心身や生活状況が悪化・重症化しており、救急搬送や早急なサービス調整が必要なケースに関する相談が多かった。
【地域ケア会議】円山・宮の森地区において、各1件ずつ個別地域ケア会議を開催し、認知症の方への見守り体制の構築に繋げることができた。地区地域ケア会議では、民生委員の定例会(円山・南円山)や単位町内会(宮の森)で開催し、早期相談や気付きのポイント、集える場と見守りの機会等について検討することができた。区地域ケア推進会議は2回開催し、それぞれ運動自主グループ立ち上げ支援の報告と認知症の方への見守り体制について検討・共有した。
【医療・介護連携】区内のケアマネジャー162名にアンケートを実施し、医療機関へのニーズ等を確認。次年度は、その結果を踏まえ、区内の医療機関を巡回し双方の連携を深めて行く予定。
【運動自主グループ立ち上げ支援】二次予防事業修了者より、運動を続けられる場を望む声が上がり、自主グループの立ち上げ支援を実施。その結果、担当地区毎に1箇所ずつ自主グループができ、立ち上げ後も必要時の相談や見守り対応等を行っている。
【研 修】区内のケアマネ等を対象に、ケアマネ連協等とも協力し3回(虐待・リハと介護の連携・新総合事業)の研修会を開催。
【予防プラン】予防プラン作成数は昨年度に比べて21件の純増。専門職については市の方針によりひとり当たりの担当件数が40件未満と決められたため、再委託件数が増加。また、新総合事業への移行への理解や説明、書類作成等に時間を要した。

27.中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所

中央区第3地域包括支援センター

(1)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	72	72	96	58	81	63	57	62	57	70	67	67	822

(2)二次予防事業対象者把握数とケアプラン作成数・終了数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
チェック数	0	0	8	6	0	4	5	0	2	0	0	0	25
作成数	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
終了者数	0	0	0	3	0	0	0	2	1	0	0	0	6

(3)会議開催、参加等

	主催	参加
個別地域ケア会議	6	
個別地域ケア会議の準備会	1	
地区地域ケア会議	3	
地区連絡会議	20	
区地域ケア推進会議	3	
区連絡会議	18	
市地域ケア推進会議		1
①②以外のケース検討会議	1	1
運営推進会議等		59
介護支援専門員連絡協議会		8
地区組織との連携	7	52
医療機関との連携	1	3
その他関係機関との連携	66	25
生活支援コーディネーター等との連携		0
合 計	126	149

中央区第3介護予防支援事業所

(1)登録者推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	1002	1000	1006	1000	1007	993	1000	994	986	983	993	993	
解約者数	15	22	21	21	24	21	23	23	15	20	29	29	263
未利用者	96	108	96	101	104	110	108	104	86	89	110	110	

(2)給付管理提出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	20	22	24	21	24	21	23	23	32	20	24	24	278
継続利用数	886	870	886	878	879	862	869	867	868	874	859	859	10,457
合 計	906	892	910	899	903	883	892	890	900	894	883	883	10,735

(3)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	1,743	1,849	1,838	1,693	1,858	1,673	1,728	1,581	1,566	1,639	1,505	1,505	20,178

(4)活動状況

① 札幌市・区連絡会議 24回　② 研修会・参加者数 30回/ 70名(延べ人数)
③ 虐待個別処遇検討会議 23回　④ 研修会開催 2回

全体のまとめ

・札幌市地域包括支援センターの人員配置基準により、4月より専門職(社会福祉士)が1名増員となった。
・年間を通して職員の入れ替わりが複数あり、引き継ぎ等の作業や未経験者の育成に時間を要したため、登録者数や継続利用者数については昨年度末と同程度となった。
・地域活動としては、曙地区において、平成25年度から実施している「高齢者見守りサポーター事業」の協力店へのフォローアップと新規サポーターへの協力依頼を行った。現在、41店舗がサポーター登録している。また、第13町内会に対し、相談機関ｶｰﾄﾞの全戸配布を行い、周知活動を行った。幌西地区においては、運動に対する意識が高く、新たな運動の機会として連町保健部による「ふまねっとカフェ」が立ち上がり、立ち上げへの協力を行った。当日は、カフェの時間帯に福祉に関する相談が複数あった。山鼻地区においては、マンション単位で運動を含めたサロン開催の相談があり、3ヶ所の立ち上げ支援を行った。現在も定期的に開催されており、適宜、運営に関する相談を受けたり、包括職員による巡回訪問も行っているが、それぞれが自主的な運営となっている。